



# オーストラリア直送レポート

**Vol.1** 2019.8.8～ ついにオーストラリアへ出発！

●ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 井口  
吉備中学校 島本

●パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 湯田・林

## [ドリップストーン校グループ]

6月からの事前研修を終え、ついに出発の日がやってきました。集まってくる研修生たちの顔を見ると、緊張している人が多い印象でした。出発の日ということもあり、集合時間の13時30分には、全員が荷物を積み終え、いつでも出発できる準備ができました。予定より15分ほど早く、きびドームを出発しました。1時間ほどで関西国際空港に到着し、添乗員さんと合流しました。添乗員さんの指示のもと、手荷物を預け、出国審査を受けました。研修生たちは緊張をしているようでしたが、冷静に添乗員さんの話を聞き、スムーズに手続きをすることができました。その後、チケットに記載されている搭乗口に向かい、飛行機に乗りました。席に着くと、座席のモニターでゲームをしたり、映画を見たりとリラックスして過ごしていましたが、離陸するときは、緊張した様子でした。



シンガポールに着くまで、気流の関係で機体が揺れることが多かったのですが、乗り物酔いをした子もいましたが、外の景色を楽しんでいる子が多くいました。今日から始まる現地研修では、研修生たちにとって初めての経験ばかりなので、一瞬の時も無駄にせず、様々なことを吸収して欲しいと思います。また、CAさんからの飲み物や機内食についての質問に戸惑いながらも、自分の欲しいものを伝えていました。その光景を見て、帰りの飛行機では、行きの飛行機とは違った、成長した姿で帰国できるよう現地でサポートしたいと改めて感じました。シンガポールに着き、乗り継ぎの時間が9時間ほどありましたが、その間、睡眠をとったり、友達と会話をしたり、空港内を見学したりと、それぞれが時間を有効に使うことができ

ました。シンガポールからダーウィンに向かう飛行機では、疲れの見える研修生が多く、寝て過ごしている子がほとんどでした。体調不良もなく、無事ダーウィンに到着し、いよいよホストファミリーとの初対面の時がやってきました。研修生たちは楽しみと不安が入り混じった表情でしたが、ホストファミリーの方々、温かく迎えてくれ、研修生たちも笑顔で会話をしていました。明日から2日間休日なので、ホストファミリーとの交流を深め、かけがえのない日々を過ごして欲しいと思います。また月曜日は初登校の日なので、私も研修生たちのために、精一杯サポートをしていきたいと思っています。(井口)

たくさんの研修を終えて、今からオーストラリアに向けて出発する研修生の皆さんの表情から期待と不安を感じました。関西国際空港に到着するといよいよ始まる旅への期待でテンションも上がっていました。

機内に入ると座席に備え付けられているテレビで映画を見る子、ゲームをする子など早速飛行機の中を楽しんでいました。離陸の瞬間には大きく揺れる機体にビックリした様子でしたが、その後は空の旅を快適に過ごしていました。

夜の11時過ぎに到着したシンガポールの空港では親御さんのもとを離れて異国の地にいるということに気分が上がりすぎてうまく寝れなかった生徒もいました。その分シンガポール発の飛行機では皆さんぐっすりと眠りについていました。

オーストラリアに到着すると大勢のホストファミリーが皆さんの到着を待っていてくれました。笑顔で自己紹介をする様子を見ているとこれから始まるホームステイはきっとうまくいくのではないかなと感じました。

この研修を通して、積極的に色々な人と交わり、多くのことを学んできて欲しいと思っています。(島本)

## [パーマストン校グループ]

事前研修を積み重ね、今日から12日間のオーストラリア海外研修が始まります。

集合場所のきびドームには続々と研修生が集まり集合時間には全員がそろっていました。

うれしそうな顔、緊張した顔でパスポート・名札・ホストファミリーに手渡すノートなどチェックを受け受付を済ませます。出発時間まで教育委員会からの注意事項が伝えられます。

さーあ出発です！赤バス、キャラバンに分乗し、保護者の方々に見送られ関西国際空港を目指します。



関西国際空港に到着。バスを降り、スーツケースを手にして出発ロビーに行くと旅行会社の方々と添乗員さんが待っていてくれます。



添乗員さんから研修生に航空チケットが手渡れ、搭乗手続きの説明を受けます。すると一気に研修生の緊張感が高まり、真剣に話を聞いています。

搭乗手続きの開始です。スーツケースを預け、身体検査、出国審査を済ませます。全員問題なく手続きを終え第一関門突破です。同行する職員も一安心、ほっとしました。

出発時間まですこしあるので、ホームステイで同じ家に行く研修生同士がペアで行動し、機内で食べるお菓子など買い物して出発時間を待ちます。

17時25分、出発の時間が来ました。シンガポールまで5840Km 約6時間のフライト開始です。



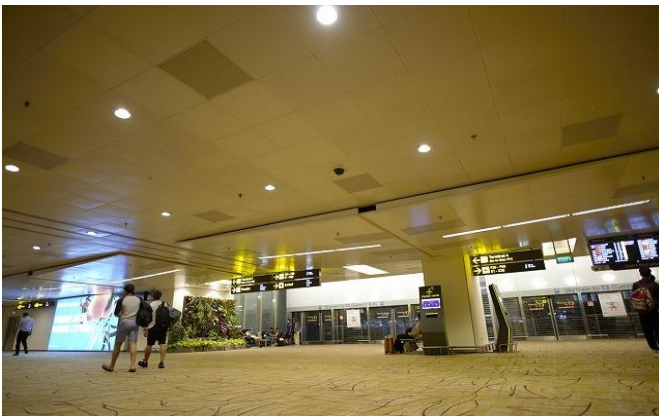
関空を飛び立ち2時間ほどで機内では夕食の準備が整い、順番に配られていきます。洋食と和食（ビーフカレーと冷やしうどん）が選択できます。はじめての機内食、保護者の方は味がどうだったか研修生が家に帰った時に感想を聞いてみてください。



長時間のフライトもあと一時間、もうすぐシンガポールに到着します。



やっとシンガポール、チャンギ国際空港に午前 0 時前に到着しました。これからシンガポールからオーストラリアのダーウィン国際空港までの飛行機を約 9 時間ここで待ちます。飛行機に乗っている時間より長いので、ここでゆっくり休めたらいいのですが・・・。



到着後、1 時間は自由行動です。しかし初めての外国なので 4 人一組で行動します。売店でたこ焼きを見つけて食べる研修生、マクドナルドでハンバーガーを食べる研修生、セブンイレブンで買い物をする研修生。

自由時間は終わり写真の場所で朝まで飛行機を待ちます。椅子を確保し座っているのですが、ほとんどの研修生は好奇心でじっとしてられません。この周辺を歩き回ります。結局、朝まで寝ない研修生もいました。

8 月 9 日午前 7 時 25 分にチャンギ国際空港を出発し、オーストラリア国際空港を目指します。飛行中、研修生たちは昼食を食べるとき以外は寝ていました。なかには昼食も食べず爆睡する研修生も。

14 時 25 分オーストラリア国際空港に到着で



す。最大の難関、入国審査が待っています。何か質問されている研修生もいましたが全員無事入国することができました。スタッフ一同ほっと一安心！

スーツケースを受け取り出口に行くとドリップストーン校の先生とホストファミリー、パーマストーン校の先生が待ってくれています。

ドリップストーン校に行く研修生はここでホストファミリーと面会し、すぐにそれぞれの家に向かいます。

パーマストーン校の研修生は、スクールバスで学校に向かいます。まわりを見渡すかぎり山はありません。この風景を見るとオーストラリアの大きさを実感します。研修生たちは初めて見るこの風景、写真を撮っていました。20分後パーマストーン校に到着です。そこには教頭先生やホストファミリーが待っています。すぐにホストファミリーに対面し、家に向かいます。

長い一日でした、研修生たちは今日から18日までホストファミリーの一員として生活します。明日、明後日は休日のため私たちスタッフは研修生に会えませんが、貴重な体験をすることでしょう。



梅雨明けが、例年より遅かった令和最初の夏。梅雨が明けると毎日、全国各地で猛暑日を観測しています。そんな猛暑続く令和元年8月8日（木）、第21期生となる有田川町中学生海外研修団が出発の日を迎えました。研修生達は、オーストラリアでの現地研修に向けて、6月より約週一回のペースで、事前研修に励んできました。出発の日、照り付ける太陽の下、大きな鞆を持った研修生たちが、保護者の方と続々と集まってきました。その表情の中には、今までの研修でつけた自身と、見知らぬ土地に保護者の方と離れて過ごす不安が、見て取れました。出発の時間になり、保護者の方や学校の先生方と多くの方々に見送られながら、関西国際空港に向かいました。空港について、初めての出国審査では研修生の多くが緊張した面持ちでした。無事に出国審査を通過し飛行機に搭乗するまでの時間を利用して、空港内で買い物や施設を見て過ごすなど思い思いの時間を過ごしていました。いよいよ、関西国際空港からオーストラリアへの経由地であるシンガポール（チャンギ国際空港）に向かう飛行機に搭乗すると、機内のシートやアメニティーなどを早速チェックしたりと大興奮の様子でした。飛行機が離陸するときは、その加速に驚いたり、滑走路を離れた瞬間を見ようと窓の外をのぞき込む研修生もいました。飛行機が離陸して数時間後、機内食が振舞われましたが、機内スタッフから、英語で和食かインターナショナルフードのどちらが良いかと

の質問にもしっかりと答えている姿が頼もしく感じました。また、事前研修で英語の授業をして頂いた、島本先生、西岡先生の指導にしっかりこたえてくれた研修生に現地でのさらなる成長を期待しました。飛行機は約六時間のフライトを経て、無事にシンガポールに到着しました。シンガポールの現地時間で、午後11時過ぎの到着でしたがアジアのハブ空港であるチャンギ空港同様、研修生も元気で安心しました。空港内で使える20シンガポールドル分のクーポンが、添乗員さんから配れると研修生たちのテンションはさらに上がっていました。研修生たちは、頂いたクーポンを握りしめて空港内探検に出かけて行きました。フードコートでご飯を食べる研修生やコンビニでお菓子を買う研修生など、みんな目をキラキラ光らせて時間を過ごしていました。ただ、慣れない空港で増して一晩を過ごさなければならなかったため、研修生の体調が気がかりでした。空港のベンチに上手く適用して仮眠する子、なかなか寝つけない子もいました。シンガポールからオーストラリアへの飛行機が出発する時間になり、研修生たちに体調を確認すると、特段の体調不良を訴える子もなく安心しました。

オーストラリアへ向かう飛行機の中は、さすが2回目の飛行機なのか仮眠する子、友達と会話してリラックスしている様子でした。約6時間のフライトをへて研修の地オーストラリアダーウィンに到着すると、やっとついたとの声も聞こえてきました。オーストラリアへの入国審査を無事に通過すると、ホストファミリーや学校の先生方がお迎えに来てくれていました。研修生たちは、自分のホストファミリーが見つかり笑顔で挨拶をし、それぞれの家庭に向かっていきました。今日から始まる現地での10日間は、研修生たちにとって本当に貴重な体験になると思います。そして、研修生の安全や保護者の方々に安心していただけるように、私自身しっかりと研修生をサポートしていきたいと思っています。

研修生たちは、この週末もそれぞれの家庭で、色々な体験をすることになると思います。月曜日に学校で会った時に研修生から週末の体験を聞けることを楽しみにしています。(林)